



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	藤枝総合運動公園サッカー場バックスタンド改修その他工事	BEE	0.5	BEEランク	B-	★★
------	-----------------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [*] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.6 / 5		がんばろう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.6 / 5		ふつう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0 / 5		ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.3 / 5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4点以上 ふつう 3点以上 がんばろう 3点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		内訳対応項目		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	2.6	
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 特になし。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥空地率、緑地率に対し配慮し設計を行った。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑧バックスタンドには外壁がなく、通風を確保している。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑬既存躯体の便所棟を残置、内装改修しバックスタンドを増築。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし。 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑩ 生物環境の保全と創出 ⑪ 敷地内温熱環境の向上 ⑫ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑬ 自然エネルギー利用率 ⑭ 設備システムの高効率化 ⑮ モニタリング ⑯ 運用管理体制 ⑰ 節水 ⑱ 雨水利用システム導入の有無 ⑲ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑳ 材料使用量の削減 ㉑ 既存建築躯体等の継続使用 ㉒ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ㉓ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ㉔ 持続可能な森林から産出された木材 ㉕ 部材の再利用可能性向上への取組み ㉖ 有害物質を含まない材料の使用 ㉗ 消火剤 ㉘ 断熱材 ㉙ 冷媒 ㉚ 地球温暖化への配慮 ㉛ 温熱環境悪化の改善		
	"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	3.6
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰中央式空調換気設備がない。非常用発電設備あり。電源車接続時に利用可能な配線が設置。通信手段の多様化。 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備	
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	3.0
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑱階高3.5m、壁比率0.05 ■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) ⑲建物の主用途が観覧場。 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ⑲	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.3	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑶まちなみ・景観への配慮/④敷地内温熱環境の向上) ⑵既存の生物資源に手を加えておらず、敷地内に散策路がある。 ⑶建物が公共空間から見えない。 ④空地率、緑地率に対し配慮し設計を行った。 ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮緑被率に配慮し設計を行った。 	Q-3 1 ⑵ 2 ⑶ 3 3.2 ④ LR-2 2 2.5 ⑫ LR-3 2 2.2 ⑮	⑵ 生物環境の保全と創出 ⑶ まちなみ景観への配慮 ⑷ 敷地内温熱環境の向上 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善		

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

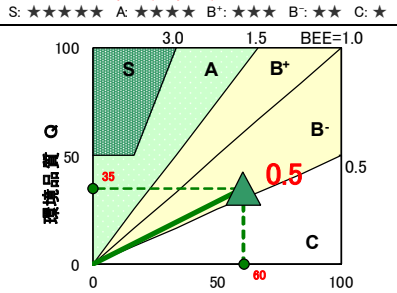
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	藤枝総合運動公園サッカー場バックス	階数	地上1F
建設地	静岡県藤枝市	構造	RC造
用途地域	指定なし、指定なし	平均居住人員	4,000 人
地域区分	7地域	年間使用時間	100 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2021年6月27日
敷地面積	202,187 m ²	作成者	高橋 秀紀
建築面積	2,677 m ²	確認日	202●年●月●日
延床面積	2,929 m ²	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

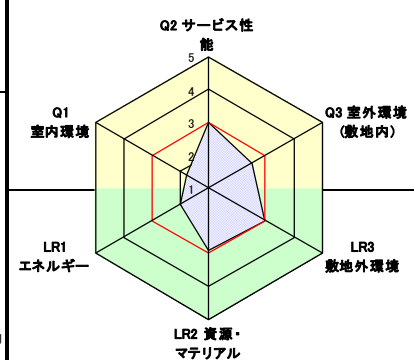
標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 100%
③上記+②以外のオンサイト手法 100%
④上記+オフサイト手法 100%

0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

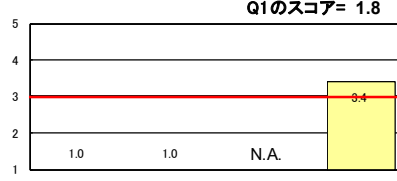


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.3**

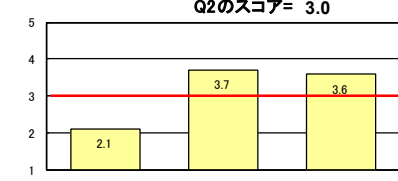
Q1 室内環境

Q1のスコア = 1.8



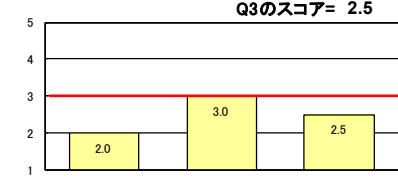
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0



Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

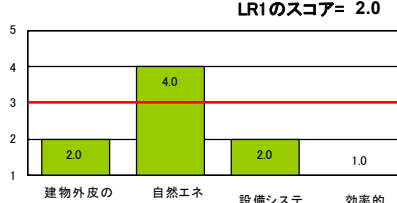


LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.5

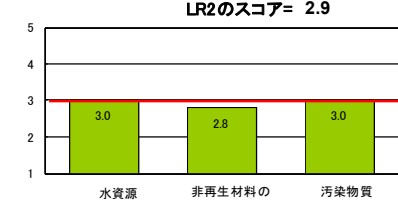
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.0



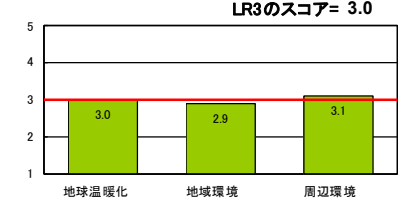
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 特になし。	Q2 サービス性能 観覧場という用途を活かした空間づくりを行った。	Q3 室外環境(敷地内) 現況の自然環境を損なわない計画とした。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル 既存の便所棟を解体せず、改修を行い、バックスタンドを増築した。	LR3 敷地外環境 特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい